

中国雲南省大理市・白族写真集 ペー —アジア民族文化学会歌垣調査旅行にて—
 (旅行期間：2002.08～2002.09) 板垣俊一編

◇昆明市から大理市へ行く途中の水田風景 (日本の農村風景と見まがうようだ。)



(2002.08.29)



(2002.09.03)



◇観光名所の一つ、大理の三塔（仏塔）
 崇聖寺の美しい三つの仏塔は洱海の西岸に聳える。



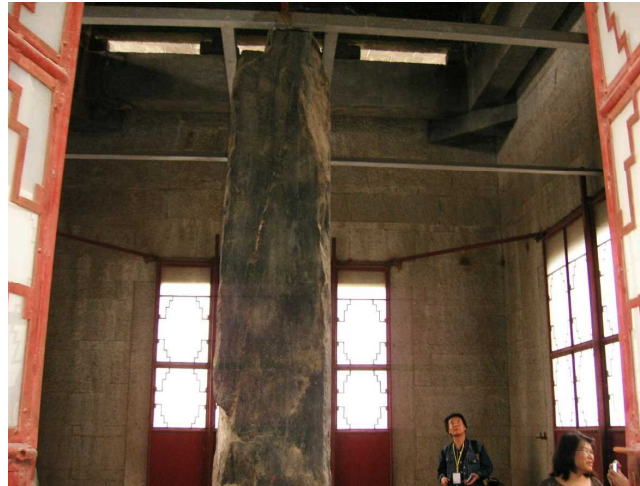
大理は唐の時代にこの地に建国された南詔国の都。南詔国が衰退して937年にタイ族が大理国を建国し、引き続いて王都になり、大理国がモンゴルによって滅亡する13世紀半ばまで続いた。現在は大理白族自治州になっていてペー族の人々が多く暮らしている。大理は周辺を高山に囲まれた大きな盆地になっていて、盆地の底に溜まった水が洱海と呼ぶ大きな湖を形成し、雄大な自然景観を造っている。

南詔国の遺跡（南詔太和城遺跡）



(2006.08.23)

南詔德化碑



(2006.08.23)

今の大理古城



(2004.08.17)

◇ペー族の民家の中庭



(2002.08.31)

◇ペー族の民家の外壁には白い地にさまざまな水墨画が描かれている。（民族文化の一つ）



(2002.08.30)

◇民族衣装を着た女子中学生たち
劍川石宝山コーラスコンテスト



(2002.08.21)

◇歌掛けの祭り (劍川石宝山)



(2006.08.21)

◇これもペー族の民族衣装
年配の女性たちは藍系統も好んで着る。



(2006.08.21)



(2002.08.31)

◇ペー族の信仰 ペー族固有の信仰は本主信仰で、民族英雄をはじめさまざまな神々を祭り崇拝している。
※本主信仰については、菅原壽清「大理白族の本主信仰と仏教：中国雲南・大理の調査から」などの論文がある。

大理の郊外で見かけた白族の村の壊れた本主廟



(2002.08.30)

村の本主廟に祭られた神々



(2002.08.30)

◇大理王族の本主廟（大理市の慶洞庄閣村）

門の入口に「神都」の額があるように、大理国王家の本主廟は白族の本主廟のなかで最も格の高い本主廟だという。管理していたのは年配の女性だった。女性は願主の依頼を受けて祈祷もする。



入口の門構え 両側に神馬がいる(2006.08.23)
神馬にはトウモロコシを撒いて供物とする。



本主廟の本尊 (2006.08.23)



1997年、本主廟修復の碑文(2006.08.23)

◇本主廟の入口を目隠しするように置かれた麒麟の照壁

魔物の進入を防ぐ照壁の前で祈る老女。右は香炉。



香炉の前の祈り (写真はいずれも 2006.08.23)



◇この日の祈りは、息子が雲南農業大学に合格したお礼参りだった。



願主のお祈り

茈碧湖